

2026 年度

文化政策学部・デザイン学部

一 般 選 抜

前 期 日 程 ・ 後 期 日 程

学生募集要項



静岡文化芸術大学

目次

文化政策学部 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）	1
デザイン学部 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）	2
各選抜における評価内容	3
募集人員	5
入試日程	5
試験実施方式等	5
出願資格	6
出願上の注意事項	6
出願期間・方法	7
入学検定料等の納入方法	10
選抜方法等	11
判定方法	20
受験上及び修学上配慮を必要とする場合の事前相談	20
受験上の注意	21
合格発表	24
追加合格	24
入学手続	24
入学科・授業料等について	25
個人成績の提供について	25
奨学金等	26
個人情報の取り扱い（一般選抜・学校推薦型選抜・特別選抜共通）	26
その他	26
インターネット出願について	27
試験会場略図	32

掲載内容から変更することがあります（掲載内容は2025年10月3日現在）。
変更した場合は、本学公式Webサイトにて公表しますので、出願をする際は
最新の情報をご確認ください。

文化政策学部 アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

文化政策学部は、本学部の教育研究上の目的に基づき、国際文化学科、文化政策学科、芸術文化学科の3学科を設置し、以下のような関心と意欲をもつ人を、積極的に受け入れる。

国際文化学科

- ・日本と世界の多様な文化に関心があり、それらを深く学びたい人
- ・外国語を使い、世界の人々と交流し相互理解を深めたい人
- ・ビジネスや国際協力、地域貢献を通して、グローバル社会で活躍したい人

文化政策学科

- ・社会と文化について総合的に学び、その問題を発見・解決したい人
- ・社会調査の方法、政策立案の手法を身につけたい人
- ・行政や企業、NPOなどで活躍し、地域社会と産業に貢献したい人

芸術文化学科

- ・文化・芸術とそれを取りまく社会について研究したい人
- ・芸術やアートマネジメントに関する実践的知識を身につけたい人
- ・文化・芸術を通じて地域を活性化し、創造性をもって社会に貢献したい人

また、3学科ともに、入学者には、以下の基礎能力を身に付けていることを求める。

【知識・理解】

大学において幅広く学ぶために必要な基礎的知識・理解をもつこと。とくに人間や文化の多様性および現代社会が直面する問題を理解するための基礎となる知識をもつこと。

【汎用的技能】

大学で学ぶ上で基本となる論理的な文章を読む力および読解した内容をもとに自分で考えたことを説明・表現する力をもつこと。

【態度・志向性】

文化や社会の在り方への関心をもち、その中から課題を発見し追究していこうとする積極性をもつこと。

【総合的な学習経験と創造的思考力】

関心のある主題について多角的にとらえる力、および、社会の課題の発見や多様な人々との協働のために必要となる論理的思考力・表現力をもつこと。

高等学校などの各教科では、以下の基礎知識を身に付けておくことを求める。

【国語】大学での学びの基礎となる読解力、論理的思考力、表現力とそれに関わる幅広い分野の基礎知識

【外国語】異文化を理解する手段となる外国語の読解力、外国語による表現力とそれらを支える基礎知識

【地歴・公民】日本を含む世界の文化・歴史及び現代社会についての関心と基礎知識

【数学・理科・情報】自然科学が扱うさまざまな原理・現象への関心と論理的思考力及びそれらを支える基礎知識

デザイン学部 アドミッション・ポリシー(入学受け入れの方針)

デザイン学部は、時代とともに変化する人や社会の価値観、文化の多様性を視野に入れ、さまざまな人の立場で考えるデザインを基本に、快適に暮らせる生活空間や環境を提案し、国際社会の発展や文化の向上に貢献できる人材を育成する。

この教育方針の下、デザイン学科を設置し、以下のような関心と意欲をもつ人を、積極的に受け入れる。

デザイン学科

- ・デザイン分野に強い関心をもち、幅広くデザインを学びたい人
- ・論理的な思考にもとづき、新しい価値の創出を目指す人
- ・直観力や審美眼をみがき、自らの発想を的確に表現したい人
- ・地球環境及び社会や地域に関心をもち、現状を分析して対応策を考えようとする人

また、入学するには、以下の基礎能力を身に付けていることを求める。

【知識・理解】

大学において幅広く学ぶために必要な基礎的知識・理解をもつこと。とくに現代社会の重要な課題を理解し、それらの課題の解決のためにデザインの果たす役割を考えるための基礎となる知識を身に付けていること。

【汎用的技能】

大学で学ぶ上で基本となる論理的な文章を読む力および読解した内容をもとに自分で考えたことを説明・表現する力をもつこと。

【態度・志向性】

社会のさまざまな課題への関心をもち、その中から課題を発見し追究していこうとする積極性をもつこと。

【総合的な学習経験と創造的思考力】

自分の関心のある主題について多角的にとらえる力、および、社会・文化の課題の発見や多様な人々との協働のために必要となる論理的思考力・表現力をもつこと。

高等学校などの各教科では、以下の知識・能力を身に付けておくことを求める。

【国語】大学での学びの基礎となる読解力、論理的思考力、表現力とそれに関わる幅広い分野の基礎知識

【英語】異文化を理解する手段となる英語の読解力、英語による表現力とそれらを支える基礎知識

【地歴・公民】日本を含む世界の文化・歴史及び現代社会についての関心と基礎知識

【数学・理科】自然科学が扱うさまざまな原理・現象への関心と論理的思考力およびそれらを支える基礎知識

【美術】美術に関する基礎的な知識・技能、優れたモノやコトに接した経験、日常生活の中で美しさに気づく鋭敏な感性

【情報】問題の発見・解決に資する基本的な情報技術の知識と、それを適切かつ効果的に活用する基礎能力

各選抜における評価内容

国際文化学科

(1) 一般選抜（前期日程）

国際文化学科で学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」及び「外国語」を必須とし、「地理歴史」または「公民」のいずれかを選択必須、さらに「地理歴史」「公民」で選択しなかった科目及び「数学」「理科」「情報」から最高得点の1科目を採用します。これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができているかを評価します。

個別学力試験の「国語」及び「外国語」では、読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

国際文化学科で学ぶ上で必要となる基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」及び「外国語」を必須とし、「地理歴史」「公民」から最高得点の1科目を採用します。

個別学力試験の「面接」は、「調査書」や当日に書く文章の内容を踏まえて行います。学部・学科の特性の理解、興味・関心のある事柄に対して主体的に取組む姿勢や意欲、多様な人々と協働して学ぶ態度などを重点的に評価します。

文化政策学科

(1) 一般選抜（前期日程）

文化政策学科で学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」及び「外国語」を必須とし、「地理歴史」または「公民」のいずれかを選択必須、さらに「地理歴史」「公民」で選択しなかった科目及び「数学」「理科」「情報」から最高得点の1科目を採用します。これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができているかを評価します。

個別学力試験の「国語」及び「外国語」では、読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

文化政策学科で学ぶ上で必要となる基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」及び「外国語」を必須とし、「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「情報」から最高得点の1科目を採用します。

個別学力試験の「面接」は、「調査書」や当日に書く文章の内容を踏まえて行います。学部・学科の特性の理解、興味・関心のある事柄に対して主体的に取組む姿勢や意欲、多様な人々と協働して学ぶ態度などを重点的に評価します。

芸術文化学科

(1) 一般選抜（前期日程）

芸術文化学科で学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」及び「外国語」を必須とし、「地理歴史」または「公民」のいずれかを選択必須、さらに「地理歴史」「公民」で選択しなかった科目及び「数学」「理科」「情報」から最高得点の1科目を採用します。これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができているかを評価します。

個別学力試験の「国語」及び「外国語」では、読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。さらに「面接」では、「調査書」や「志望理由書」の内容を踏まえつつ、芸術文化学科の特性を理解しているか、自分の関心をこの学科でどのように深めようとしているかについて評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

芸術文化学科で学ぶ上で必要となる基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」を必須とし、「外国語」「地理歴史」「公民」から高得点の2科目を採用します。

個別学力試験の「面接」は、「調査書」や「志望理由書」、当日に書く文章の内容を踏まえて行います。学部・学科の特性の理解、興味・関心のある事柄に対して主体的に取り組む姿勢や意欲、多様な人々と協働して学ぶ態度などを重点的に評価します。

デザイン学科

(1) 一般選抜（前期日程）

デザイン学科で学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。大学入学共通テストでは、次の（ア）（イ）（ウ）の3教科3科目を採用します。

（ア）「外国語」（英語）

（イ）「国語」及び「数学」から最高得点の1科目

（ウ）（イ）で採用されなかった教科及び「地理歴史」「公民」「理科」「情報」から最高得点の1科目

これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができているかを評価します。

個別学力試験では、「数学」または「実技（鉛筆描写）」（以下「実技」と表記）を選択することができます。「数学」を課す選抜では、数学に関する幅広い知識及び基礎的計算力に加え、さまざまな事象について数学を用いて理解し思考する力などを評価します。

一方、「実技」を課す選抜では、観察力、発想力、表現力などを評価します。なお、「実技」を選択した者のうち、「実技+ポートフォリオ提出型選抜」を出願時に選択した者は、「実技」に加え、出願時に提出するポートフォリオ10作品（制作活動の履歴を示すために自身の作品を取りまとめたもの）に関する「口頭試問」を課します。「口頭試問」を通して、観察力、発想力、表現力に加えて作品制作能力を造形と色彩の観点から評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

デザイン学科で学ぶ上で必要となる基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。大学入学共通テストでは、次の（ア）（イ）（ウ）の3教科3科目を採用します。

（ア）「外国語」（英語）

（イ）「国語」及び「数学」から最高得点の1科目

（ウ）（イ）で採用されなかった教科及び「地理歴史」「公民」「理科」「情報」から最高得点の1科目

これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができているかを評価します。

個別学力試験の「実技（鉛筆描写）」では、観察力、発想力、表現力などを評価します。

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員	
			前期日程	後期日程
文化政策学部	国際文化学科	100	65	10
	文化政策学科	55	40	5
	芸術文化学科	55	36	5
デザイン学部	デザイン学科	110	75 I 数学 40 II 実技 35*	10

※ 「ポートフォリオ提出型選抜」の合格者5名を含みます。

入試日程

試験区分	出願期間（必着）	試験日	合格発表日	手続期間（必着）
前期日程	1/26（月）～2/4（水）	2/25（水） 2/26（木） （注）	3/6（金）	3/7（土）～3/15（日）
後期日程	1/26（月）～2/4（水）	3/12（木）	3/20（金）	3/21（土）～3/27（金）

（注）2/26（木）はデザイン学部「数学」試験、デザイン学部ポートフォリオ提出型選抜「口頭試問」試験の実施日、及び芸術文化学科「面接」試験の予備日です。

芸術文化学科の前期日程は、志願状況により面接を2日間に分けて行う場合があります。面接を2日間に分けて行う場合は、受験票にて通知します。

試験実施方式等

本学の一般選抜は、「分離分割方式（前期日程・後期日程）」により実施します。

2026年度国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の一般選抜は、「分離分割方式」と「公立大学中期日程」の2つの方式により実施されます。

志願者は分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、及び「公立大学中期日程」から1つの、合計3つまでの大学・学部に出願することができます。

※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページを確認してください。

出願資格

本学の一般選抜に出願できるのは、次のいずれかに該当し、かつ「令和8年度大学入学共通テスト」において本学が指定する教科・科目を受験した人です。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び2026年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2026年3月に修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1項第1号の規定により文部科学大臣の指定した者
 - ② 学校教育法施行規則第150条第1項第2号の規定により文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 学校教育法施行規則第150条第1項第3号の規定により専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 学校教育法施行規則第150条第1項第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び2026年3月31日までに合格見込みの者で2026年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、当該者を本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
 - ⑦ 本学において個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達する者

<注意事項>

出願資格(3)⑥⑦によって出願しようとする者は、出願資格の審査が必要です。

2025年11月7日（金）までに入試室（TEL 053-457-6401 Email アドレス nyushi@suac.ac.jp）に連絡をしてください。

出願上の注意事項

- (1) 国公立大学（独自日程で入学試験を行う公立大学・学部を除く）の入学試験で同一日程区分に属する複数の大学・学部に出願することはできません。
- (2) 本学または他の国公立大学の前期日程試験に合格し、3月15日までに入学手続を行った人は、本学または他の国公立大学の後期日程試験及び中期日程試験を受験しても、その合格者とはなりません。
- (3) 本学または他の国公立大学・学部の学校推薦型及び総合型選抜合格者は、当該学校推薦型及び総合型選抜を実施する大学・学部の定める入学辞退手続きにより入学を辞退した場合を除いて、一般選抜を受験しても入学許可は得られません。
- (4) 本学では、同一学部、異なる学部を問わず、前期日程と後期日程に併願することができます。ただしその場合、それぞれに出願書類をそろえ、別々の封筒で郵送してください。
- (5) 本学の各学科が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は、個別学力試験を受験することはできません。出願にあたっては、志望学科の課している大学入学共通テストの教科・科目を受験しているかどうか、十分確認してください。

出願期間・方法

1 出願期間

前期日程	1/26（月）～2/4（水）（最終日の17時必着）
後期日程	

（注）インターネット出願登録は1月25日（日）9時から行えます。
出願書類の送付は郵送に限ります。直接持参しても受理できません。

2 出願方法

- インターネット出願のみです。
※詳細は27ページ「インターネット出願について」及び本学公式Webサイトを参照してください。
インターネット出願以外での出願は受理できません。
- インターネットでの、出願する入試区分、志願者情報の登録及び入学検定料等の支払い、ならびに、次の「3 出願書類」に示した出願書類の郵送（**必ず書留・速達**）をもって出願完了となります。
※郵送の際に紛失等の事故があった場合、書留の記録により出願締切日前日までに発送していることが確認できれば出願を受理します。

3 出願書類

(1) インターネット出願システムにより印刷する書類	
① 出願確認票	・入学検定料等を納入後、印刷ができるようになります。 ・出願内容に間違いがないか確認してください。 ※【点検用】の出願確認票を提出しないようにしてください。 ・本学の2026年度一般選抜では、大学入学共通テストの成績請求情報を「チケット方式」にて請求します。そのため、共通テスト出願サイトのマイページから「成績請求チケット」を発行し、出力した成績請求チケットを出願確認票の「大学入学共通テスト成績請求チケット 貼り付け欄」に貼り付けて提出してください。 ※前期日程と後期日程で貼り付けるチケットが異なります。前期日程は『国公立前期日程用』を、後期日程は『国公立後期日程用』のチケットを貼り付けて提出してください。
(2) 本学公式Webサイトより書式をダウンロードして準備する書類	
② 志望理由書 ※芸術文化学科 志願者のみ	・本学指定の様式（PDF形式）をダウンロードし、志願者本人が自筆（ボールペン使用、消せるボールペンは不可）で記入したものを提出してください。 ・前期日程、後期日程の両日程ともに芸術文化学科を受験する場合は、各日程で1枚提出してください。（前期日程及び後期日程とも同じ内容を提出する場合は、一方の志望理由書がコピーとなっても構いません。）
(3) その他必要書類	
③ 調査書等	・文部科学省所定の様式により、出身学校長が出願前3か月以内に作成し、厳封したものを提出してください。 ・出身学校の廃校又は罹災その他の事情で、調査書を得ることができない場合は、調査書が発行できない旨を記載した出身学校の証明書（様式任意）、卒業証明書及び単位修得証明書を提出してください。 ・「出願資格」の(3)（6ページ参照）のいずれかに該当する場合は、それを証明できるもの（証明書の原本等）の提出をもって、これに代えることができます。 ・「出願資格」の(3)⑤に該当する場合は、高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）の「合格成績証明書」または合格見込者は「合格見込成績証明書」を提出してください。

④ ポートフォリオ ※前期日程デザイン学部「選択区分Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜」志願者のみ	・次項「4 前期日程 デザイン学部「選択区分Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜」について」で提出方法等を必ず確認してください。 ・他の出願書類（「①出願確認票」及び「③調査書等」）とは別の封筒（角型A3号封筒）に入れて郵送してください。
--	---

4 前期日程 デザイン学部「選択区分Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜」について

- (1) ポートフォリオとは、「制作活動の履歴を示すために自身の作品を取りまとめたもの」を表します。
- (2) ポートフォリオに掲載する作品は、次のとおりとします。

- ・観察力、発想力、表現力に加えて作品制作能力を造形と色彩の観点から評価ができる10作品をまとめてください。
- ※ポートフォリオに掲載する作品のジャンルや画材、平面あるいは立体であるかなどについては問いませんが、掲載した作品群は口頭試問において、上に掲げた項目の評価ができるものでなければなりません。
- ・受験生個人の能力を評価することを目的とするため、共同作品の提出は認めません。
- ・著作物をそのまま模倣・模写したものの提出は認めません。

- (3) 提出方法は、次のとおりとします。

- ・本学指定の様式をダウンロードし、1作品に対して、A3判・縦1枚を使用（表面のみ使用可）し、所定欄に「通し番号」「タイトル」「実際のサイズ」「作品種別」「制作時期」「素材・画材・技法等」「制作意図・説明」「署名」を記入してください。
- ※ポートフォリオ様式は、本学公式Webサイトよりダウンロード・出力してください。
<https://www.suac.ac.jp/exam/faculty/selectionmethods/>
- ※「署名」以外は、Wordデータ上にパソコン等での入力も可とします。（手書きも可）
- ※様式（Wordデータ）のレイアウト（余白の幅、列幅等）は変更しないでください。
- ※記載方法については、本学公式Webサイトのポートフォリオ様式（PDF）内の記入例を参考にしてください。
- ・作品が、自身が単独で制作したものに相違ないことを宣誓するための署名（自筆）を必ず添えてください。
- ・提出するポートフォリオは、次の2つの方法のどちらの形式でも構いません。（混在も可）
 - ①本学が指定する様式のフォーマットデータ（Wordデータ）上に作画データもしくは作品写真データを配置した後に出力する。
 - ②本学が指定する様式を出力し、指定欄に作品の写真またはコピーを手貼り（糊付け）する。
- ・Web上で作品を確認できるQRコードやURLを作品添付欄に掲載することは認めません。
- ・本学指定の様式10枚（10作品分）をクリアフォルダ1枚の中にまとめて提出してください。その際、「冊子状にする」「ホッチキス留め」「クリップ留め」はしないでください。
- ※クリアフォルダ以外のものは封筒に入れないでください。（送付状は不要です。）
- ・ポートフォリオ郵送用封筒として「角型A3号封筒」をご用意いただき、本学公式Webサイトより『ポートフォリオ提出用宛名ラベル』（A4）を出力し、封筒に貼り付けて郵送してください。
- ※他の出願書類の封筒（角型2号）とは別封筒にて、**必ず書留・速達**で出願期間内に本学に到着するようにお送りください。出願期間内に出願書類とポートフォリオが提出されなかった場合は、「ポートフォリオ提出型選抜」への出願は受理しません。

(4) その他・留意点

- ・提出されたポートフォリオは返却しません。
- ・口頭試問は、ポートフォリオの内容に関する質疑を行うもので、面接対応の巧拙を評価するものではありません。
- ・口頭試問では、事前に郵送で提出した資料のみ用いるため、当日の会場に制作物や新たな資料等の持ち込みは一切できません。
- ・受験生自身が単独で制作した作品であることの宣誓（署名）には、著作権違反をしていないことも含みます。万が一、実施年度の3月31日までに宣誓が虚偽であることが判明した場合には、「ポートフォリオ提出型選抜」における合格を取り消します。その場合、選択区分Ⅱ「実技」における点数が合格ライン以上であったとしても合格とはしません。



5 出願書類提出上の注意事項（全学科共通）

- (1) 出願書類の不足、誤記入等の場合には、受け付けることができませんので注意してください。
- (2) 出願書類は、いかなる理由があっても返還できません。また、**出願書類の発送後は出願した学科等の変更は一切認められません**。ただし、インターネット出願（27 ページ以降参照）により登録した住所に変更が生じた場合は、直ちに入試室へ申し出てください。なお、インターネット出願での登録後、**出願書類の発送前**における変更等への対応は、**31 ページを確認してください**。
- (3) 出願書類に虚偽の記入をした場合には、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

6 受験票及び写真票の送付について

受験票及び写真票は、2月12日（木）以降に発送します。2月16日（月）までに受験票及び写真票が届かない場合には、入試室（TEL 053-457-6401）にお問い合わせください。

7 写真票に貼付する写真について

- (1) 縦4cm×横3cm、上半身正面・脱帽、最近3か月以内に撮影した写真を使用してください。
- (2) 写真の裏面に**受験番号・学科名・氏名**を記入してください。受験番号は、受験票にてお知らせします。
- (3) 試験当日は、大学から郵送されてきた写真票に写真を貼付して持参してください。

入学検定料等の納入方法

1 金額 18,110 円（内訳：入学検定料 17,000 円、受験票・写真票郵送料 410 円、支払手数料 700 円）

2 納入方法

- (1) クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行 ATM（ペイジー）、ネットバンキングによる支払いのいずれかで納入してください。
- (2) クレジットカードの種類や取扱店舗等、納入方法の詳細は、インターネット出願ガイダンス画面の「入学検定料等のお支払い」のページで確認してください。

※入学検定料等の返還について

- (1) 入学検定料等の返還請求ができる条件は次のとおりです。
 - ① 入学検定料等を払い込んだが本学に出願しなかった
 - ② 入学検定料等を誤って二重に払い込んだ
 - ③ 出願書類、出願要件に不備があり、出願を受理されなかった
 - ④ 出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した

- (2) 返還する入学検定料等の金額

上記(1)の①から③に該当する方

17,410 円（ただし、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。）

上記(1)の④に該当する方

13,410 円（ただし、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。）

- (3) 返還請求の方法

提出書類（3 種類）	・「入学検定料等返還請求書」 ・入学検定料等の入金を確認した旨の通知メール（件名：【静岡文化芸術大学】インターネット出願 入学検定料入金確認メール）を印刷した紙 ・預金通帳またはキャッシュカード（銀行名・支店名・口座番号・氏名が分かる箇所、ゆうちょ銀行の場合は銀行名・記号・番号・氏名が分かる箇所）のコピー
返還請求期限	2026 年 3 月 31 日（火）（17 時必着）
提出方法	入試室宛に郵送してください。

※「入学検定料等返還請求書」「預金通帳またはキャッシュカードのコピー」は返還先の確認に利用し、これ以外の目的には使用しません。

※「入学検定料等返還請求書」は本学 Web サイト＞入試案内＞学部入試案内＞入学者選抜要項・学生募集要項＞様式集よりダウンロードしてください。

- (4) 大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料等の特別措置について

大規模災害に被災した志願者の入学検定料等について、志願者からの申請に基づき返還をいたします。対象になる災害や返還方法等の詳細は本学公式 Web サイト

(<https://www.suac.ac.jp/exam/disaster/>) にてお知らせします。

選抜方法等

文化政策学部 国際文化学科 前期日程

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点		合計	総計
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	250		750	1050
	国語	『国語』	200			
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	選① 200	選② 100		
	公民					
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』	—			
		『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	—			
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	—			
	情報	『情報Ⅰ』	—			
選①：最高得点の1科目を採用します。 選②：選①で採用した科目を除いた最高得点の1科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）を250点満点に換算します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を250点満点に換算します。						
個別学力試験	教科	科目	配点	合計		
	外国語	「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」※3	150	300		
	国語	「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」※4	150			
	※3：リスニング及びスピーキングは課しません。 ※4：近代以降の文章を出題範囲とします。					

2 個別学力試験 実施日程、試験内容

試験日	教科・科目	時 間	試験内容
2026年2月25日(水)	国 語	9:30~10:50 (80分間)	記述式 近代以降の文章(小説は除く) 2題
	外国語	11:30~12:50 (80分間)	記述式(一部に客観式含む) 「長文」2題、「英作文」1題

3 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

文化政策学部 文化政策学科 前期日程

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点		合計	総計
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	200		700	1000
	国語	『国語』	200			
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	選① 200	選② 100		
	公民					
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	— —			
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	—			
	情報	『情報Ⅰ』	—			
	選①：最高得点の1科目を採用します。 選②：選①で採用した科目を除いた最高得点の1科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）をそのまま採用します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を200点満点に換算します。					
	個別学力試験	教科	科目	配点	合計	
外国語		「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」※3	150	300		
国語		「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」※4	150			
※3：リスニング及びスピーキングは課しません。 ※4：近代以降の文章を出題範囲とします。						

2 個別学力試験 実施日程、試験内容

試験日	教科・科目	時 間	試験内容
2026年2月25日(水)	国 語	9:30～10:50 (80分間)	記述式 近代以降の文章(小説は除く) 2題
	外国語	11:30～12:50 (80分間)	記述式(一部に客観式含む) 「長文」2題、「英作文」1題

3 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

文化政策学部 芸術文化学科 前期日程

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点		合計	総計	
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	200		700	1000	
	国語	『国語』	200				
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	選①	選② 100			
	公民		200				
	数学		『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』				—
			『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』				—
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	—				
	情報	『情報Ⅰ』	—				
	選①：最高得点の1科目を採用します。 選②：選①で採用した科目を除いた最高得点の1科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）をそのまま採用します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を200点満点に換算します。						
個別学力試験	教科	科目	配点	合計			
	外国語	「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」※3	100	300			
	国語	「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」※4	100				
	その他	面接（口述試験）	100				
	※3：リスニング及びスピーキングは課しません。 ※4：近代以降の文章を出題範囲とします。						

2 個別学力試験 実施日程、試験内容

試験日	教科・科目	時 間	試験内容
2026年2月25日(水) ※5	国 語	9:30~10:50 (80分間)	記述式 近代以降の文章（小説は除く）2題
	外国語	11:30~12:50 (80分間)	記述式（一部に客観式含む） 「長文」2題、「英作文」1題
	面接 (口述試験)	13:20~ ※6	a) 芸術文化学科の特性を理解しているか。 b) 自分の関心をこの学科でどのように深めようとしているか。 (問いの例) ①芸術や文化、あるいはそれらを取りまく社会についてこれまでどのような関心をもってきましたか。②芸術文化学科での学習・研究においてその関心をどのように深められると考えていますか。

※5 面接予備日は2026年2月26日(木)になります。志願状況によっては、面接を2日間に分けて行う場合があります。その場合には、受験票にて面接実施日をお知らせします。

※6 最終面接者の終了時刻は18時頃になる場合があります。

3 多面的・総合的評価について

面接（口述試験）において調査書及び本学が指定する志望理由書を参考資料とします。

4 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

デザイン学部 デザイン学科 前期日程

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目		配点		合計	総計
	外国語	『英語』（※1 ※2）		200		600 (400) ※3	
	国語	『国語』		選① 200	選② 200		
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』					
		『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』					
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、 『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／ 公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』		—			
	公民			—			
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		—			
情報	『情報Ⅰ』		—				
同一教科からは1科目のみ採用とします。 選①：最高得点の1科目を採用します。 選②：選①で採用した科目を除いた最高得点の1科目を採用します。 ※1：200点満点（リーディング100点、リスニング100点）をそのまま採用します。 なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を200点満点に換算 します。 ※3：個別学力試験で「Ⅱ：実技+ポートフォリオ提出型選抜」を選択した場合は、600 点満点における点数を400点満点に換算します。							
個別学力試験	選択区分	教科	科目		配点	合計	1000
	Ⅰ 数学 ※4	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、 「数学C」※6		(400)	400	
	Ⅱ 実技 ※4	その他	実技「鉛筆描写」※7		(400)		
	Ⅱ 実技+ ポートフォ リオ提出型 選抜 (※4 ※5)	その他	実技「鉛筆描写」※7		(400)	(600) ※8	
			口頭試問		(200)		
※4：選択区分Ⅰ・Ⅱは出願時に選択します。さらに選択Ⅱは、「実技」及び「実技+ ポートフォリオ提出型選抜」のどちらかを出願時に選択してください。 ※5：「実技+ポートフォリオ提出型選抜」で不合格であった場合、自動的に「実技」の みの受験者と同じ区分で合否判定の対象となります。その場合、「実技」のみの配 点（共通テスト600点、個別学力試験400点）にて評価されます。 ※6：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」は、すべての単元を出題範囲とします。「数学B」 及び「数学C」からは、「統計的な推測」「数列」「ベクトル」の3項目を出題し、 その中から2項目を選択解答してください。 ※7：「鉛筆描写」には、想定描写を含みます。 ※8：「実技+ポートフォリオ提出型選抜」を選択した場合は、個別学力試験の合計が 600点満点になります。							

2 個別学力試験 実施日程

日程		2026年2月25日（水）	2026年2月26日（木）
選択区分	教科・科目		
I：数学			10：00～12：00（120分間）
Ⅱ：実技		実技「鉛筆描写」 9：30～12：30（180分間）	
Ⅱ：実技+ポートフォリオ提出型選抜		実技「鉛筆描写」 9：30～12：30（180分間）	口頭試問 9：30～

3 試験内容

選択区分	教科・科目	試験内容
I	数学	① 記述式(図示する問題を出題することもある。解答の結果だけでなく、その導出過程も採点の対象となる。) ② 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」は、すべての単元を出題範囲とする。 ③ 「数学B」及び「数学C」からは「統計的な推測」「数列」「ベクトル」の3項目を出題し、その中から2項目を選択解答する。
Ⅱ	実技「鉛筆描写」	問題及び与えられた条件に従い想定描写を行う。
Ⅱ	「口頭試問」 ※実技＋ポートフォリオ提出型選抜のみ	ポートフォリオの内容に関する質疑を行うもので、面接対応の巧拙を評価するものではない。

◎選択区分Ⅱ：実技、Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜

【指定持参用具】
鉛筆描写に必要な用具一式(カルトン、イーゼルは本学で用意し、下描用紙1枚を配付します。)
※デッサンスケール及びスケッチブックの使用は不可とします。

【注意点】

- ・試験室入室後は、試験開始前であっても許可なく退室することはできません。
- ・試験室入室後は、試験開始前であっても指定持参用具以外の用具の使用を固く禁止します。
- ・試験開始までは筆記用具を用いた下描き・描画等は一切行ってはいけません。
- ・解答はフリーハンドとし、定規等の道具を用いて線を引くことは認めません。

4 多面的・総合的評価について

- ・実技（鉛筆描写）において、観察力、発想力、表現力などを評価します。
- ・実技+ポートフォリオ提出型選抜では、実技（鉛筆描写）試験に加え、出願時に提出するポートフォリオ10作品（制作活動の履歴を示すために自身の作品を取りまとめたもの）に関する口頭試問において、観察力、発想力、表現力に加えて作品制作能力を造形と色彩の観点から評価します。

5 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

文化政策学部 国際文化学科 後期日程

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科		科目	配点	合計	総計
	外国語		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	250	450	
	国語		『国語』	100		
	地理歴史		『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	選①		
	公民			100		
	選①：最高得点の1科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）を250点満点に換算します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を250点満点に換算します。					
個別学力試験	教科	科目		配点	合計	
	その他	面接（口述試験） ※3		100	100	
	※3：試験当日に面接資料となる文章の作成を課します。文章の内容は評価の対象とはしません。					

2 個別学力試験 実施日程

試験日	教科・科目	時 間
2026年3月12日（木）	面接（口述試験）	面接前 文章作成 9:00～10:00（60分間）
		面 接 12:00～

3 試験内容

教科・科目	試験内容
面接（口述試験）	受験者は面接の前に文章（3題それぞれ200字程度）を書く。（筆記用具以外の持ち込みは不可） 面接は、その文章に基づいて、主に以下の点について行う。 a) 静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科の特性を理解しているか。 b) 大学で学びたいことは何か。どうして学びたいと思ったか。学びたいと思うようになったきっかけは何か。

4 多面的・総合的評価について

面接（口述試験）において、調査書を参考資料とします。

5 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

文化政策学部 文化政策学科 後期日程

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点	合計	総計	
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	200	500	600	
	国語	『国語』	200			
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	選① 100			
	公民					
	数学					『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』
	理科					『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』
	情報			『情報Ⅰ』		
選①：最高得点の1科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）をそのまま採用します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を200点満点に換算します。						
個別学力試験	教科	科目	配点	合計		
	その他	面接（口述試験） ※3	100	100		
	※3：試験当日に面接資料となる文章の作成を課します。文章の内容は評価の対象とはしません。					

2 個別学力試験 実施日程

試験日	教科・科目	時 間
2026 年 3 月 12 日（木）	面接（口述試験）	面接前 文章作成 9：00～10：00（60 分間）
		面 接 12：00～

3 試験内容

教科・科目	試験内容
面接（口述試験）	受験者は面接の前に文章（3題それぞれ200字程度）を書く。（筆記用具以外の持ち込みは不可） 面接は、その文章に基づいて、主に以下の点について行う。 a) 静岡文化芸術大学 文化政策学部 文化政策学科の特性を理解しているか。 b) 大学で学びたいことは何か。どうして学びたいと思ったか。学びたいと思うようになったきっかけは何か。

4 多面的・総合的評価について

面接（口述試験）において、調査書を参考資料とします。

5 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

文化政策学部 芸術文化学科 後期日程

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点	合計	総計
	国語	『国語』	200	500	
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	選① 150×2		
	地理歴史	『地理総合,地理探究』、『歴史総合,日本史探究』、『歴史総合,世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共,倫理』、『公共,政治・経済』			
	公民				
	選①：高得点の2科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）を150点満点に換算します。なお、リスニング欠席者は『英語』の得点を採用しません。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を150点満点に換算します。				
個別学力試験	教科	科目	配点	合計	
	その他	面接（口述試験） ※3	100	100	
	※3：試験当日に面接資料となる文章の作成を課します。文章の内容は評価の対象とはしません。				

2 個別学力試験 実施日程

試験日	教科・科目	時 間
2026年3月12日（木）	面接（口述試験）	面接前 文章作成 9：00～10：00（60分間）
		面 接 12：00～

3 試験内容

教科・科目	試験内容
面接（口述試験）	受験者は面接の前に文章（3題それぞれ200字程度）を書く。（筆記用具以外の持ち込みは不可） 面接は、その文章に基づいて、主に以下の点について行う。 a) 静岡文化芸術大学 文化政策学部 芸術文化学科の特性を理解しているか。 b) 大学で学びたいことは何か。どうして学びたいと思ったか。学びたいと思うようになったきっかけは何か。

4 多面的・総合的評価について

面接（口述試験）において、調査書及び本学が指定する志望理由書を参考資料とします。

5 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

デザイン学部 デザイン学科 後期日程

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点		合計	総計
	外国語	『英語』（※1 ※2）	100		300	
	国語	『国語』	選① 100	選② 100		
	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ, 数学A』				
		『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』				
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	—			
	公民		—			
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	—			
情報	『情報Ⅰ』	—				
同一教科からは1科目のみ採用とします。						
選①：最高得点の1科目を採用します。						
選②：選①で採用した科目を除いた最高得点の1科目を採用します。						
※1：200点満点（リーディング100点、リスニング100点）を、100点満点に換算します。なお、リスニング欠席者は失格とします。						
※2：リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点をそのまま採用します。						
個別学力試験	教科	科目		配点	合計	
	その他	実技「鉛筆描写」 ※3		600	600	
	※3：「鉛筆描写」には、想定描写を含みます。					

2 個別学力試験 実施日程

試験日	教科・科目	時 間
2026年3月12日（木）	実技「鉛筆描写」	10：00～13：00（180分間）

3 試験内容

教科・科目	試験内容
実技「鉛筆描写」	問題及び与えられた条件に従い想定描写を行う。
【指定持参用具】 鉛筆描写に必要な用具一式（カルトン、イーゼルは本学で用意し、下描用紙1枚を配付します。） ※デッサンスケール及びスケッチブックの使用は不可とします。	
【注意点】 ・試験室入室後は、試験開始前であっても許可なく退室することはできません。 ・試験室入室後は、試験開始前であっても指定持参用具以外の用具の使用を固く禁止します。 ・試験開始までは筆記用具を用いた下描き・描画等は一切行ってはいけません。 ・解答はフリーハンドとし、定規等の道具を用いて線を引くことは認めません。	

4 多面的・総合的評価について

実技（鉛筆描写）において、観察力、発想力、表現力などを評価します。

5 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

判定方法

大学入学共通テストの出題教科・科目のうち、本学が指定する教科・科目の成績（総合点）と個別学力試験の合計点及び調査書の内容を総合的に判定します。

※本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない人は、個別学力試験を受験することはできません。

※志望学科が課している個別学力試験の教科・科目を一つでも受験していない場合は、選抜の対象になりません。

※調査書は参考資料とします。

受験上及び修学上配慮を必要とする場合の事前相談

受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、下表の申請期限までに電話またはメールで本学までご相談ください。大学入学共通テストの受験に際し受験上の配慮を申請した人も、必ずご相談ください。ご相談後、本申請に必要な書類をお送りします。

申請期限を過ぎている場合は、まずは下表の連絡先にご一報ください。

申請期限	2025 年 12 月 15 日（月）
本申請の方法	大学から送付されてきた書類に必要事項を記入の上、「医師の診断書（原本）」又は「身体障害者手帳（写）」と、大学入学共通テストで受験上の配慮を認められた場合は「受験上の配慮事項決定通知書（写）」を添えて本申請をしてください。なお、必要な場合には本人又はその立場を代弁できる方との面談を行うことがありますのでご了承ください。
連絡先	〒 430-8533 静岡県浜松市中央区中央 2-1-1 静岡文化芸術大学 入試室 TEL 053-457-6401 Email アドレス nyushi@suac.ac.jp

受験上の注意

1 受験票及び写真票

- (1) 試験当日は、「本学受験票」、「本学写真票」及び「大学入学共通テスト受験票」の計3枚を必ず持参してください。前期日程のデザイン学部 選択区分Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜の受験者は、2月26日は「本学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」の計2枚を必ず持参してください。
- (2) 受験票等を忘れたり紛失した場合は、試験当日に試験会場受付の係員へ申し出て、その指示を受けてください。

2 試験会場への入場

- (1) 試験会場への自動車、バイクの乗り入れ及び駐車はできません。
- (2) 試験当日は下記の時刻より入構できます（予定）。なお、受験票で必ず確認してください。

①前期日程

学部	試験日	開場時刻	試験室 着席完了時刻
文化政策学部	2/25	8:15	9:10
デザイン学部	2/25 (Ⅱ：実技、Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜)	8:30	9:00
	2/26 (Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜)	8:40	9:10
	2/26 (Ⅰ：数学)	9:00	9:40

②後期日程

学部	試験日	開場時刻	試験室 着席完了時刻
文化政策学部	3/12	8:00	8:40
デザイン学部	3/12	9:00	9:30

- (3) 試験開始後30分以上遅刻した人は受験できません。
「面接」、「口頭試問」において、試験開始時刻に遅刻した人は受験できません。
ただし、自然災害等不可抗力による遅刻の場合は、特別措置をとることがあります。
- (4) 実技「鉛筆描写」試験室入室後は、試験開始前であっても許可なく退室することはできません。
- (5) 試験会場においては、係員及び試験監督者の指示に従ってください。
- (6) 携帯電話等の電子機器類は、各試験の着席完了時刻までに必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。
※実技「鉛筆描写」を受験する者は、実技試験室の入室前にアラーム設定を解除し、電源を切っておいてください。

3 試験室からの退出

試験時間が終了するまで退出することはできません。

ただし、デザイン学部の実技「鉛筆描写」では、試験終了時刻60分前から退出を認めます。退出する場合には、監督の指示に従って静かに退出してください。

「面接」、「口頭試問」では、各自の試験終了後、帰宅してください。

4 試験中の注意

- (1) 時計のアラーム機能、時報は必ず解除してください。
- (2) 試験中、試験監督者に用件がある場合は、黙って挙手してください。
- (3) 試験では、辞書（電子辞書を含む）及び計算機能等のついた時計等の使用はできません。
- (4) デザイン学部の実技試験では、指定持参用具及び与えられた用具だけを使用してください。
- (5) 必要のないものは、かばん等に入れて試験監督者の指示する場所に置いてください。

5 所持品の取り扱い

各試験で、病気・負傷や障害等のために下記以外のものの使用を希望する場合は、入試室にお問い合わせください。

(1) 文化政策学部、デザイン学部（選択区分Ⅰ：数学）

試験時間中、本学の受験票・写真票・大学入学共通テスト受験票のほかに机の上に置いてよいものは、次のとおりとします。

- ・ B、HB の黒の鉛筆または黒芯のシャープペンシル
- ・ 消しゴム
- ・ 鉛筆削り（電動式・大型のもの、ナイフ類は不可。）
- ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）
- ・ メガネ
- ・ 目薬
- ・ ハンカチ
- ・ ティッシュペーパー（袋や箱等から取り出したもの）

※「面接」ではポートフォリオや制作物等の持ち込みはできません。

(2) デザイン学部（前期日程 選択区分Ⅱ：実技及びⅡ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜、後期日程）

本学の受験票・写真票・大学入学共通テスト受験票のほかに、かばんから出しておいてよいものは、次のとおりとします。

- ・ 実技「鉛筆描写」の指定持参用具（15 ページ、19 ページ参照）
- ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）
- ・ メガネ
- ・ 目薬
- ・ ハンカチ
- ・ ティッシュペーパー（袋や箱等から取り出したもの）

(3) デザイン学部（選択区分Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜 口頭試問）

- ・ 「口頭試問」では、ポートフォリオや制作物等の持ち込みはできません。

6 不正行為に該当する行為、罰則について

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室が指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての試験の成績を無効とします。

- (1) 志願票、受験票・写真票、解答用紙に、故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入すること等）をすること。
- (2) カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピー等を机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (4) 配付された問題冊子及び解答用紙を、その試験時間が終了する前に試験室の外に持ち出すこと。
- (5) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (6) 「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (7) 試験時間中に、「5 所持品の取り扱い」に示した以外のものを使用すること。
特に、以下の電子機器類については、試験時間中の使用についてはもちろん、試験時間中に身に付けていたり、手に持っている場合においても不正行為となることがある。
携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、IC レコーダー、電子辞書、イヤホン、カメラ 等

7 その他の注意事項

- (1) 試験日前日は、会場準備のため試験会場に立ち入ることはできません。
- (2) 試験当日の昼食は、受験者が各自持参してください。（学内の食堂や売店は営業していません。）
- (3) 試験当日は、受験者以外は試験会場に入ることにはできません。（保護者控室はありません。）

合格発表

試験区分	合格発表日時
前期日程	2026 年 3 月 6 日（金） 10 時
後期日程	2026 年 3 月 20 日（金） 10 時

- 1 本学公式 Web サイト (<https://www.suac.ac.jp/>) にて合格者の受験番号を 5 日間掲載します。
- 2 合格者には、合格発表日当日、本人宛（インターネット出願で登録した住所）に合格通知書及び入学手続書類を発送します。
- 3 可否についての問い合わせには一切応じません。

追加合格

入学手続期間終了後、入学定員に欠員が生じた場合は追加合格を行います。追加合格者への連絡は、2026 年 3 月 28 日（土）に、インターネット出願で登録した連絡先へ電話にて行います。

入学の意志について、本人（保護者等の代理は認められません）に確認をしますので、本人と直接、連絡を取れるようにしておいてください。その場で意志の確認ができない場合は、「追加合格」とはしません。

※ 追加合格者の発表は行いません。

※ 追加合格に関する問い合わせには一切応じません。

入学手続

合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付しますので、その指示に従って入学手続を行ってください。所定の期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとしますので注意してください。

1 入学手続期間

試験区分	入学手続期間（最終日の 17 時必着）
前期日程	2026 年 3 月 7 日（土）～ 3 月 15 日（日）
後期日程	2026 年 3 月 21 日（土）～ 3 月 27 日（金）

2 手続方法

- (1) 入学料及び授業料等の納入

入学手続期間内（**前期日程 3 月 13 日（金）の 14 時まで、後期日程 3 月 27 日（金）の 14 時まで**）に金融機関から納入してください。

- (2) 入学手続書類の送付

入学手続書類は**上記手続期間に必ず届くように郵送**してください。入学手続書類の提出は郵送に限ります。

3 入学料等

25 ページでご確認ください。

4 注意事項

- (1) 合格者が、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。
- (2) 一つの国公立大学・学部に入學手続をした人は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入學手続することはできません。追加合格についても同様です。
- (3) 一度納入された入学料は、いかなる理由があっても返還できません。
- (4) 入学手続には、大学入試センターが発行する「国公立大学入学確認票」の提出が必要です。

入学料・授業料等について

		文化政策学部・デザイン学部	
		静岡県内の人	静岡県外の人
入学料		141,000 円	366,600 円
授業料	前期	267,900 円	267,900 円
	後期	267,900 円	267,900 円
学生教育研究災害 傷害保険等保険料		4,660 円	4,660 円
後援会費		40,000 円	40,000 円
同窓会費		20,000 円	20,000 円
初年度納入金 計		741,460 円	967,060 円

◎ 上記の金額は予定額です。納入金額は入学手続き時に確認してください。

◎ 在学中に上記の金額が改定された場合には、改定後の金額が適用されます。

◎ 上記の金額の他に、デザイン学部学生には入学後、材料費を別途徴収します。

◎ 本学では、2025 年度以降に入学する学部生に対し、授業の教材として情報端末（ノートパソコンまたはキーボード付きのタブレット端末）を必携としています。

※情報端末に関する詳細（推奨仕様等）は、合格発表後に合格者にお送りする資料にてお伝えします。

◎ 入学初年度後期授業料からは、口座振替により徴収します。

◎ 修学支援新制度に基づき、授業料等の減免を実施しています。

入学料は、入学手続き時に納入いただきます。ただし、修学支援新制度により減免を受けられる方は、入学後に減免額を返金します。

なお、経済的な理由により、授業料の分割納入を受けることができます。

修学支援新制度、分割納入については、入学手続き時の案内をご確認ください。

◎ 本学の教育や研究の充実のために、任意の寄付金のご協力をお願いすることがあります。

上表の「静岡県内の人」とは次のいずれかに該当する人をいいます。（住所を有していることの確認は住民票で行います。）

- ① 2025 年 4 月 1 日以前から 2026 年 4 月 1 日まで引き続き 1 年以上静岡県内に住所を有している人
- ② 2025 年 4 月 1 日以前から 2026 年 4 月 1 日まで配偶者又は 1 親等にあたる親族が、引き続き 1 年以上静岡県内に住所を有している人
- ③ 静岡文化芸術大学長が上記①、②に掲げる人に準ずると認める人

個人成績の提供について

2026 年度入学者選抜の個人成績については、受験者本人の請求により、提供することができます。なお、請求には本学受験票の提示が必要となります。

- 1 提供情報 総合得点
- 2 請求期間 2026 年 6 月 1 日（月）～2026 年 6 月 30 日（火）
- 3 請求方法 2026 年 5 月初旬に、本学公式 Web サイト(<https://www.suac.ac.jp/>)においてお知らせします。

奨学金等

1 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金の手続きについては入学手続き時または入学後にご案内します。

2 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。詳しくは下記のコールセンターへお問い合わせください。

〈教育ローンコールセンター〉 0570-008656（ナビダイヤル）または 03-5321-8656

3 学生寮について

本学に学生寮はありません。

個人情報の取り扱い（一般選抜・学校推薦型選抜・特別選抜共通）

個人情報については「静岡県個人情報保護条例」に基づき、次のとおり取り扱います。

- 1 出願書類に記入された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④個人を特定できない方法又は形式による統計的集計を行うために利用します。
- 2 入学者選抜に用いた試験成績は、個人を特定できない方法、又は形式により、今後の入学者選抜方法及び大学教育改善のための検討資料の作成等に利用します。
- 3 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テスト受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
- 4 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- 5 個人データの第三者提供について本学は、取得した個人データを利用目的の範囲を超えて第三者へ提供する場合は、あらかじめ利用目的を公表、又は通知し、ご本人の同意を得たうえで実施します。
なお、次に掲げる事項の場合は、ご本人に同意を得ずに提供することがあります。
①人の生命、身体又は財産の保護のために緊急に必要があるとき。
②利用目的を本人に明示することにより、本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがあるとき。
③利用目的を本人に明示することにより、県の機関、国、独立行政法人等、他の地方公共団体又は地方独立行政法人が行う事務又は事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められるとき。
- 6 個人データの取り扱いの委託について本学は、利用目的の範囲内で、個人データの取り扱い業務の一部又は全部を外部に委託することがあります。この場合、個人データを適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人データの適正管理・機密保持等により個人データの漏洩防止に必要な事項を取り決め、適切な管理を実施させます。

その他

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。

※「入試過去問題活用宣言」について詳細及び参加大学の一覧については、次の Web サイトをご覧ください。
(<http://www.nyushikakomon.jp>)

インターネット出願について

1 インターネット出願時に登録するメールアドレスの利用について

入試の実施において急遽変更が生じた場合や緊急のお知らせがある場合は、出願した人に本学から連絡をすることがあります。

その場合、本学公式 Web サイトで周知するとともに、インターネット出願で登録したメールアドレスに連絡をしますので、必要に応じて本学からの連絡を受け取れるメールアドレスへの転送設定をお願いします。

【転送設定時の注意事項】

インターネット出願で登録したメールアドレスが各通信キャリアのセキュリティ設定のためにユーザー受信拒否と認識されているか、迷惑メール対策等でメールが正しく届かない場合、転送されない可能性があります。インターネット出願で登録したメールアドレスで「@suac.ac.jp」のドメインを受信可能に設定してください。

また、お使いのメールサービス、メールソフト、ウイルス対策ソフト等の設定により「迷惑メール」と認識され、メールが届かない場合があります。(特にフリーメールをお使いの方) その場合は「迷惑メールフォルダー」等をご確認いただくかお使いのサービス、ソフトウェアの設定をご確認ください。

2 インターネット出願の準備から受験までの流れ

- ① 出願する入試区分・入試日程・出願書類等を確認する。
- ② 出願書類及びインターネット出願ができる環境を準備する。
- ③ 本学公式 Web サイト「インターネット出願」のページから、インターネット出願システムにアクセスする。
- ④ インターネット出願システムにて必要事項を入力する。
- ⑤ 入学検定料等(18,110 円)を納入する。
- ⑥ 入学検定料等納入後、「出願確認票」及び「出願封筒用宛名ラベル」を出力し、内容を確認する。
- ⑦ 角形 2 号の封筒に「出願封筒用宛名ラベル」を貼り、出願書類を封入し、出願期間内に必着するよう書留速達で郵送する。(前期日程デザイン学部の選択「Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜」のポートフォリオは、角型 A3 号の封筒(A3 判用紙が入る)を用意し、本学公式 Web サイトより『ポートフォリオ提出用宛名ラベル』(A4)を出力し、出願期間内に必着するよう書留速達で郵送する。)
- ⑧ 後日、大学から受験票及び写真票を送付するため、受領する。
- ⑨ 写真票に写真を貼付し、受験当日に受験票及び写真票を持参し受験する。

3 インターネット出願への準備

インターネット出願を行うにあたり、次のことを準備しておいてください。

(1) 「学生募集要項」と出願書類等

事前に「学生募集要項」で入試区分、出願期間、出願書類等を確認及び用意をし、インターネット出願システムに入力する際も、この要項を手元に置いて準備してください。

(2) インターネット出願に必要な環境

- ①パソコンまたはモバイル端末、②メールアドレス、③プリンターを用意してください。

なお、詳細はインターネット出願システムのガイダンス画面「よくある質問・お問い合わせ」で確認し、用意してください。

4 インターネット出願システムへのアクセス

本学公式 Web サイト「インターネット出願」のページから、インターネット出願システムにアクセスしてください。

TOP > 入試案内 > 学部入試案内 > 「インターネット出願」(画面 1)

<https://www.suac.ac.jp/exam/faculty/onlineentry/>



(画面 1)

5 インターネット出願における注意事項【必ずお読みください】

○インターネット出願は、本システムに入力・登録しただけでは出願したことにはなりません。

次の(1)～(3)をすべて出願期間内に済ませてください。

(1) 本システムで、出願する入試区分と志願者情報を登録する。

(2) 入学検定料等を支払う。

(「入学検定料等」には次の①～③が含まれています。詳細は学生募集要項でご確認ください。①入学検定料、②受験票・写真票の郵送料、③支払手数料)

(3) 出願書類を送付する。(書留速達で郵送、出願期間最終日の17時必着)

※出願の受付は郵送に限ります。本学に直接持参しても受理しません。

○ 本システムにおいては、(2) 入学検定料等の支払いが完了して初めて、(3) の出願書類を印刷することができるようになっていきます。コンビニエンスストアやATMなどの営業時間は施設により異なりますので事前に確認し、余裕をもった出願を心掛けてください。

○ 本システムで出願登録をし、入学検定料等を支払った後、出願書類を発送している場合は、入試区分、志望学部・学科、一般選抜前期日程におけるデザイン学部の選択「Ⅰ：数学」、「Ⅱ：実技」、「Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜」については、一切変更はできません。

6 インターネット出願

(1) ガイダンス画面

ガイダンス画面（画面2）には①「利用案内・出願手続開始」、②「学生募集要項」、③「入学検定料等のお支払い」、④「よくある質問・お問い合わせ」の4項目ありますので内容をご確認ください。

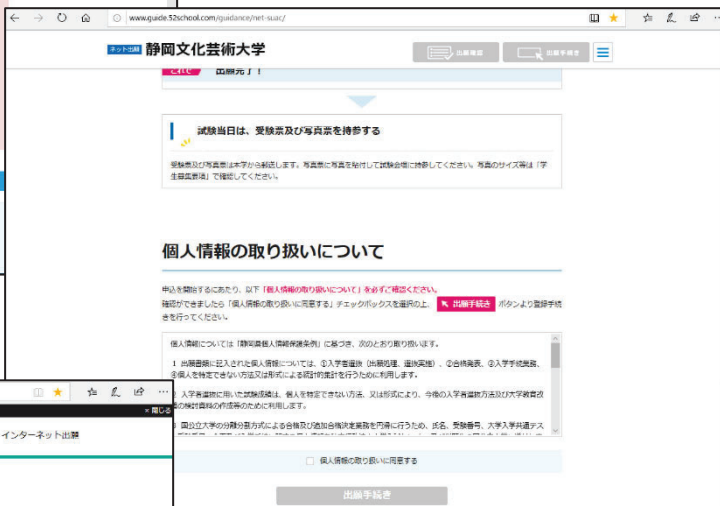
①～④の各内容の確認及び①の画面の一番下にある「個人情報の取り扱い」（画面3）に同意されましたら、チェックの上、画面右上の「出願手続き」ボタンをクリックしてください。入試区分の選択画面（画面4）に移ります。

入試区分の選択後、志願者情報の入力画面に移りますので、以降、画面の指示に従って、入力・登録等を行って下さい。

（画面2）



（画面3）



（画面4）



なお、システムへの入力・登録完了後、出願内容を確認したいときは、ガイダンス画面（画面2）右上の「出願確認」ボタンをクリックすれば、出願内容を確認できます。

その際、①氏名（カナ）、②生年月日と、システム入力中に発行される③整理番号、及び④セキュリティーコードが必要となります。

(2) インターネット出願における留意点

インターネット出願に際しては、先述のガイダンス画面（画面2）における①「利用案内・出願手続開始」及び④「よくある質問・お問い合わせ」に掲載されている内容を、事前によくお読みいただくことを強くお勧めします。

以下、①「利用案内・出願手続開始」及び④「よくある質問・お問い合わせ」にも記載されている内容ですが、一部、掲載します。

①「利用案内・出願手続開始」画面 掲載内容から

■手順5. 出願書類を郵送する

出願封筒用宛名ラベルを貼った市販の封筒（角型2号）を使用して、出願書類を**書留速達**で郵送してください。前期日程デザイン学部を選択「Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜」のポートフォリオは、角型A3号の封筒（A3判用紙が入る）を使用してください。なお、出願の受付は郵送に限ります。本学に直接持参しても受理しません。

④「よくある質問・お問い合わせ」画面 掲載内容から

■氏名の漢字が登録の際にエラーになってしまう。

氏名や住所などの個人情報を入力する際に、漢字が登録エラーになる場合は代替の文字を入力してください。

（例） 高木→高木 山崎→山崎 （ローマ数字）Ⅲ→（アルファベットのアイ）III

■出願登録後、入力内容の誤りに気付いたが変更できるか。

※次ページでご確認ください。

■写真は必要ないのか。

出願に必要な書類には含まれません。後日、大学から送付される写真票に写真を貼り付けて受験当日に持参してください。

■一般選抜の前期日程と後期日程を出願する場合、調査書は何部必要か。

1つの入試区分につき、1部の調査書が必要です。前期日程・後期日程でそれぞれ1部ずつ、計2部を用意してください。なお、その他書類等についても、入試区分ごとにそれぞれ1部ずつが必要です。

■一般選抜の前期日程と後期日程を出願する場合、出願書類を1つの封筒にまとめて送付してよいか。

送付できません。前期日程分・後期日程分それぞれ別の封筒に出願封筒用宛名ラベルを貼って用意し、それぞれの入試区分に必要な出願書類を入れて送付してください。

■操作に関するお問い合わせ

志願受付操作サポート窓口 0120-752-257 毎日 9:00～20:00

※ 登録受付期間のみご利用いただけます。

※ 年末年始（12/29～1/3）は休業させていただきます。

※ ご意見・お問い合わせ内容等の正確な把握や、今後のサービス向上のために、通話を録音させていただきます。

■出願登録後、入力内容の誤りに気付いたが変更できるか。

次の（１）～（３）の状況により対応が異なりますので、ご確認ください。

なお、（３）の場合は、入試区分、志望学部・学科、一般選抜前期日程におけるデザイン学部の選択「Ⅰ：数学」、「Ⅱ：実技」、「Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜」については、一切変更はできませんのでご注意ください。

- （１）入学検定料等を支払う前
- （２）入学検定料等を支払ったが出願書類は発送していない
- （３）入学検定料等を支払い、出願書類を発送している



◎対応の詳細は次のとおりです。

なお、（１）及び（２）の対応による出願期間の延長は認めません。

（１）入学検定料等を支払う前

次の①～③の手順により、誤った登録内容を取り消し、新たに登録を行なうことができます。

- ① ガイダンス画面（画面２）右上の「出願確認」ボタンをクリックし、氏名（カナ）、生年月日と、システム入力中に発行される整理番号、及びセキュリティーコードを入力してログインしてください。
- ② 入力を誤った出願内容について、「出願取消」より出願を取り消してください。
- ③ 取り消し後、画面下の「追加出願」ボタンより、改めて初めから登録し直してください。なお、入学検定料等は必ず新たに発行された番号でお支払いください。また、大学への連絡等は不要です。

（２）入学検定料等を支払ったが出願書類は発送していない。

インターネット出願で登録した内容の変更及び取り消しはできませんので、次のＡまたはＢの対応をお願いします。

Ａ 出願する入試区分・学部・学科・選択科目（一般選抜前期日程デザイン学部）に誤りがある場合

- ① 再度、インターネット出願で、正しい学部・学科等に登録し、入学検定料等をお支払いください。
- ② 誤って出願した学部・学科等の入学検定料は 10 ページ「※入学検定料等の返還について」にある返還請求により返還します。なお、「入学検定料等返還請求書」の返還請求の理由は『①入学検定料等を払い込んだが、本学に出願しなかった』を記載してください。

Ｂ Ａ以外の場合（住所や電話番号などの誤り）

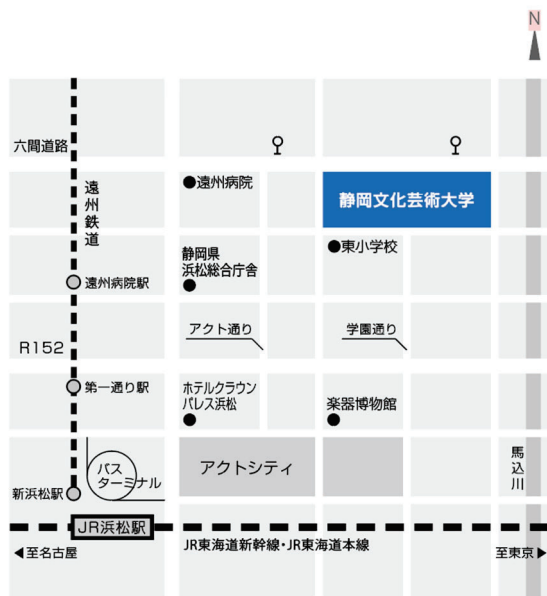
出力した「出願確認票」の内容に誤りがある場合は、誤った箇所に二重線を引き、赤字で正しい内容をご記入ください。（訂正印は不要です。）

（３）入学検定料等を支払い、出願書類を発送している

入試区分、志望学部・学科、一般選抜前期日程におけるデザイン学部の選択「Ⅰ：数学」、「Ⅱ：実技」、「Ⅱ：実技＋ポートフォリオ提出型選抜」については、一切変更はできません。

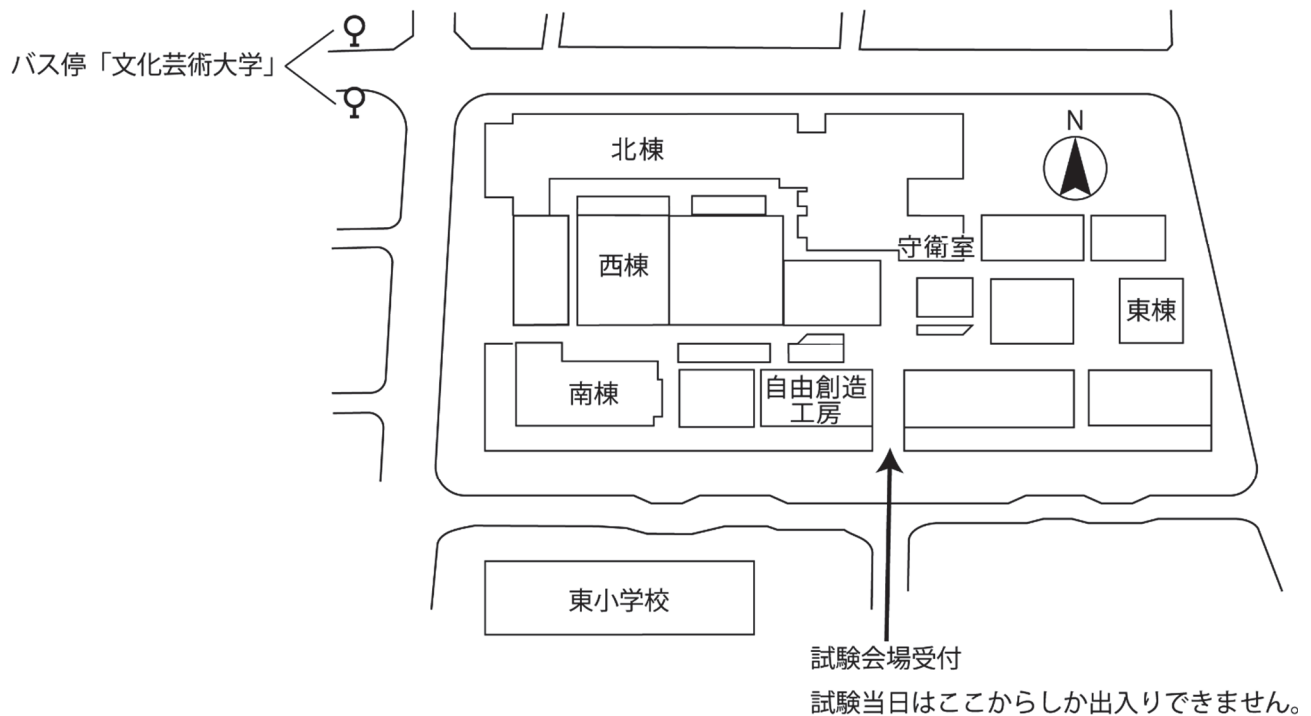
試験会場略図

試験会場	静岡文化芸術大学
所在地	浜松市中央区中央 2 - 1 - 1



JR 浜松駅から徒歩 15 分

JR 浜松駅北口バスターミナル 10 番のりばから出ているバスは「文化芸術大学」バス停を通ります。ただし、系統番号 2 番を除きます。



試験会場受付

試験当日はここからしか出入りできません。

静岡文化芸術大学

<https://www.suac.ac.jp/>

入試室

静岡県浜松市中央区中央2丁目1番1号

TEL 053-457-6401 FAX 053-457-6123